



とうのしょうまち

東庄町 第161号

議会だより

平成29年
9月1日
発行

発行／東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111

目次

- 6月定例会の内容…………… 2～4
- 一般質問…………… 5～6
- 議会トピックス…………… 7～8



“泣く子は育つ!!” 健やかな成長を願って



コジュリンくん

7月29日(土) 蝉しぐれが降り注ぐ、諏訪神社境内で毎年恒例の「諏訪大神秋季大祭奉納相撲」が開催されました。町内子ども会や自衛隊による取り組みのほか、出羽海部屋力士に抱かれた『赤ちゃん土俵入り』では、廻しも優しい小さな12人の力士たちが、観客の視線を一身に浴び、会場はにぎやかな温かい声援であふれていました。

6月定例会

一般会計補正予算など 全議案を可決

6月定例会は、6月6日から9日までの4日間の会期で開かれました。今議会では、承認4件、議案1件、報告1件が提案され、すべての案件を原案のとおり可決しました。

請願2件については、教育予算関係の請願2件が採択となり、教育予算関係に関連した「意見書案2件」を可決しました。

一般質問は2人の議員が行いました。

定例会の経過概要

6月定例会初日の6日には、一般質問を2人の議員が行った後、条例の一部改正に係る専決処分の承認3件、平成28年度東庄町一般会計補正予算に係る専決処分の承認1件、一般会計補正予算の議案1件が提案され、慎重審議の結果、全案件を原案のとおり可決しました。

次に、繰越明許費繰越計算書の報告を受けました。

続いて、請願2件が上程され趣旨説明の後、所管の常任委員会に付託しました。

2日目の7日は、午後に文教福祉常任委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

最終日の9日には、文教福祉常任委員長から付託された請願2件の審査結果の報告があり、全ての案件を採択しました。

これを受け、議員発議による意見書案2件が提出され可決しました。



可決された 主な議案等 の概要

◎専決処分の承認（町税条例等の一部改正）

町税条例等の一部を改正する条例の制定について専決処分したため、承認を求めるもの。

◎専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正）

東庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について専決処分したため、承認を求めるもの。

◎専決処分の承認（介護保険税条例の一部改正）

東庄町介護保険税条例の一部を改正する条例の制定について、専決処分したため、承認を求めるもの。

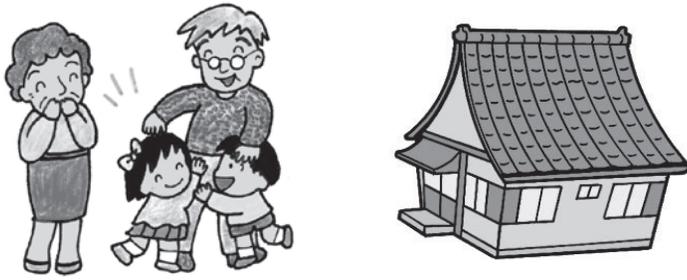
◎専決処分の承認（平成28年度東庄町一般会計補正予算第6号）

観光案内駐車場トイレの設計管理業務について、次年度に繰越することになり、繰越明許の設定についての補正を専決処分したため、承認を求めるもの。

◎一般会計補正予算

補正額は、303万2千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を52億3303万2千円とするものです。

補正の内容は、自動車購入278万4千円、自治会等集会施設整備事業補助金24万8千円を補正したものです。



常任委員会報告

6月定例会の本会議において付託された請願については、所管の常任委員会において慎重に審査が行われました。

文教福祉常任委員会

常任委員会における質疑、意見等の概要は次のとおりです。

(請願第1号 「国における平成30(2018)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願)

意見 毎年同じような形で提出されていますが、教育はどの子どもも平等であります。全国的には、まだまだ遅れているところもありますので、予算拡充を求める請願を出すことには賛成です。

以上のような意見等があり、請願第1号について採決した結果、当委員会では全員賛成により採択すべきものと決定しました。

(請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願)

意見 千葉県は、他県に比べると恵まれていた状況ではありますが、現状低下することなく、維持するために義務教育費国庫負担制度を堅持しなければならぬと思いますので、要望をしていくべきだと思います。よって、本請願の趣旨に賛成です。

意見 昨今、教職員の働き方が変わってきており、国が予算負担すべきところは十分に行っていたか、そこに地方はプラスで教育にかけられるようにしなければならぬので、請願の趣旨には賛同しますので賛成です。

以上のような意見等があり、請願第2号について採決した結果、当委員会においては、全員賛成により採択すべきものと決定しました。



本会議で報告する林文教福祉常任委員長



文教福祉常任委員会

6月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=- (議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			土屋 光正	宮澤 健	佐久間 義房	板寺 正範	花香 孝彦	林 俊之	大網 正敏	城之内 一男	高木 武男	鈴木 正昭	山崎 ひろみ	宮崎 正吾	鎌形 寿一	土屋 進
承認 第1号	専決処分承認を求めることについて(町税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認 第2号	専決処分承認を求めることについて(東庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認 第3号	専決処分承認を求めることについて(東庄町介護保険条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認 第4号	専決処分承認を求めることについて(平成28年度東庄町一般会計補正予算(第6号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第20号	平成29年度東庄町一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告 第1号	繰越明許費繰越計算書について(平成28年度東庄町一般会計繰越明許費繰越計算書)	報告	報告事項のため採決はありません													
請願 第1号	「国における平成30(2018)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願 第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書 第1号	国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書 第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



定例会初日の6月6日には、研修に来町していた国家公務員2名と、本年度新規採用職員が本会議を傍聴しました。



山崎 ひろみ 議員

就学援助の現状と課題について

問 我が町の就学援助対象者の現状を伺う。これらの要綱については如何に。

また、ランドセルなど学用品の費用等を新入学時に間に合うように支給する体制は出来ているか。

教育課長 就学援助の対象者には、生活保護受給世帯の要保護と、生活保護世帯に準ずる程度の困窮と教育委員会が認定した世帯の準要保護、この2種類があります。

平成29年5月1日現在、町では要保護世帯が小学生で1名、準要保護世帯は小学生9名・中学生8名です。

なお、支給の時期は前年の所得が確定する確定申告後の3月中旬を申請締め切りとしています。町の要綱はないため、国の就学支援の補助金交付要綱を基準に、支給事務を行っています。また、平成28年度までは小学校入学前の子供は対象外であったため、入学前の支給は困難で

したが、要綱の改定により29年度からは小学校入学前の児童も対象となりました。このため、町でも平成30年度新入学児童生徒に対し、就学援助費の中の学用品費は、入学前に速やかな支給が行えるように対応してまいりたいと考えます。

高齢者の健康寿命を延ばす取り組みについて

問 現在の取り組み状況と新たな施策の展開について伺う。認知症予防として、気軽に高齢者が集まれる場所づくりが必要と考えるが、各区集会所の利用に対し、使用料を補助する考えはあるか。

また、高齢者が共に作業して作物を作り、一緒にお茶を飲みながら歓談し交流を図れる場所として「共生型コミュニティ農園」あるいは、「シルバーファーム」的なものが出来ればと考えるが、町の計画は如何に。

健康福祉課長 町では、現在町内在住の65歳以上の方を対象に、自宅でも実践できる介護予防効果のある運動や体操を行う「げんき教室」はつらつ教室」を定期的に実施しています。また、各地区の公民館・集会所等に町地域包括支援センターの職員が伺い、介護予防のための「出前講座」も行っています。

次に、閉じこもる高齢者を減らすため、各地区の集会所等を利用した



げんき教室

場合の補助金制度はありませんが、「出前講座」等を有効活用いただき、高齢者が集まれる場所づくりを提供していきたいと思っています。

新たな施策としては、住み慣れた地域で行政と住民が一体となり支え合う「地域福祉計画」や、健康づくりの基本となる「健康増進計画・食育推進計画」等を策定いたします。

まちづくり課長 現在、シルバー農園的な詳細な計画は、策定しておりませんが、本年度から「農地を貸しても良い」「農地を借りて野菜作り等してみたい」などの方に声をかけ、協議検討を始め、理解・協力が得られれば、小規模な市民農園的な物から始められないかと考えています。

議会の傍聴にお出かけください

9月定例会は、9月4日月から開会予定です。
<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>





城之内 一男 議員

平成29年度予算及び 施策について

問 一般会計における町税の増収要因と、個人住民税納税義務者数の今後の推移について伺う。

また、町債の中でも大幅に増加している臨時財政対策債発行可能額と町の認識は如何に。

統合小学校校舎増築・学校給食センター建設の財源は。

総務課長 町税予算増の要因は、経済指標等資料により、営業所得、農業所得の増加を見込んだことによるものです。個人住民税納税義務者数は6,863人を見込んでおりますが、高齢化による生産年齢人口の減少により、今後は減収を見込んでの財政運営になると思われまます。

また、臨時財政対策債発行可能額は、2億2千600万円となっております。

今後も財政需要を考慮し、借入による収入と、積み立てなどの歳出のバランスを考えながら、財政運営を

行って参りたいと考えます。

次に、小学校校舎増築事業財源は、起債と基金の取り崩しです。学校給食センターは学校教育事業債と基金の取り崩しを予定しておりますが、他の起債との兼ね合いも考慮のうえ、過疎債の発行も検討したいと思えます。

問

国民健康保険特別会計の管理運営が、2018年度より、市町村から県に変わるが、運営方針と体制の違いは如何に。また、標準保険料率に対する町の見解と、国保加入世帯数、人数、加入者負担最高限度額、徴収率等、今年度の状況を伺う。

町民課長

平成30年度から県が財政運営をし、制度の安定化を図ります。市町村は、資格管理、保険給付、保険料率の決定、徴収、保健事業を今まで同様行います。尚、標準保険料率は、来年2月に確定する予定ですが、住民負担の変動が大きくなるようなよう、県の標準保険料率を参考に、熟慮し決めていきたいと考えております。次に国保加入世帯は29年4月末で2,580世帯、国保被保険者数4,662人、加入者負担最高限度額は89万円です。現年課税分徴収率は92.8%、滞納繰越分は18%を見込んでおり、税の公平性からも滞納処分を強化し、徴収率アップに努めたいと思えます。

問

大規模急性期病院への医療人材の集中という病院の二極化は、地方自治体病院において深刻な医師不足問題を生んでいるが、国保東庄病院における現状と医師確保のための考えは。

病院事務長

現状の診療は、常勤医師4名のうち、2名は自治医科大学卒業医師で県からの派遣です。地域医療としては、総合診療的な病院医療と人間ドッグの推進により、予防医療の充実を推進しています。医師確保の取り組みとして、①自治医科大学卒業医師の派遣申請による医師の確保、②東庄病院・全国自治体病院協議会・千葉県国民健康保険直営診療施設協議会ホームページでの医師の募集、③地域医療後期研修プログラムによる後期研修医の確保、④千葉県知事へ地域医療の医師確保についての要望活動、⑤医師斡旋業者への登録による募集等行っております。

公共施設等総合管理計画 について

問 現在、公共施設の老朽化問題はない懸念となっている。このような状況下、公共施設等総合管理計画が策定されたと理解するが、将来のまちづくりの在り方も含め、行政の認識を伺う。

この一般質問は、6月定例会の内容を要約したものです。全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。

総務課長 施設の長寿命化を図ることを念頭に、不具合箇所の早期修繕に努めることで、劣化を最低限度に留めていきます。施設の更新においては、住民ニーズを十分把握し必要性の低い施設は、廃止を含めた検討も必要と考えております。

問

公共施設の更新や、大規模改修・廃止を含め財源の確保が重要と考える。起債を含め、財政規模に対する将来維持更新費の比率と町の基本的な方針は。

総務課長

財源の確保についてですが、国・県の補助があるものはこれを最大限活用し、他、一般財源や起債により対応したいと思えます。

なお、起債については、将来負担を考慮のうえ、必要最小限に抑えたいと思えます。また、事務事業を見直し、経費節減に努めながら、積極的に基金を積み立て、財源の確保を図りたいと思えます。

議会・教育委員会懇談会を開催

6月9日定例会最終日終了後、議員控室を会場に、議員と教育委員が、小学校統合と学校給食センター建設について、懇談会を開きました。
 双方が胸襟を開き、忌憚のない活発な意見を述べ合い、密度の濃いものとなりました。



小林教育委員



土屋議長



林教育委員



広報研究会に初参加

昨年、発足致しました議会広報編集委員会は、初めて市町村議会広報研究会一住民に読まれ・議会活動が伝わる議会だよりの基本と編集」を受講しました。全国の優れた議会だよりの編集方法を知り、多くの改善点を再認識致しました。
 これからは、議会に来ていただいた時と同じように議会の様子が伝わる広報誌を目指し、改善し続けてまいります。



議会全員協議会を開催

議会では、7月10日、「選挙管理委員会委員及び補充員の選出について」を協議事項に、全員協議会を開催しました。



利根川治水同盟治水大会に参加

8月3日、栃木県佐野市文化会館を会場に、第68回利根川治水同盟治水大会が開催され、土屋議長、山崎副議長及び総務産業常任委員が参加しました。



千葉県町村議会議員研修会

8月2日、千葉県町村議会議長会の主催による平成29年度千葉県町村議会議員研修会が開催され、全議員が参加しました。

研修では、泉宏氏（政治ジャーナリスト）による『ピンチの安倍1強、改造で立て直しなるかー政局夏の陣展望ー』及び加藤久和氏（明治大学政治経済学部教授 日本創生会議メンバー）による『人口減少社会における地域活性化』と題した講演が行われました。

それぞれの講演を通し、議会が議事機関としての機能充実を図る有意義な研修となりました。



議会活動日誌

【議長・議員が出席した主な行事】

5月

- 1日 東庄町PTA連絡協議会定期総会
- 9日 議会全員協議会
- 11日 東庄町農村ふれあい塾塾員会議
〃 議会広報編集委員会
- 12日 東庄町遺族会総会
- 18日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会東庄町支会第1回理事会
- 19日 香取郡市町議会議長会定期総会
- 24日 東庄町商工会総代会
- 25日 千葉県町村議会議長会第1回定例会
〃 東庄町献血推進協議会
- 26日 小見川交通安全協会東庄町支部総会
- 29日 東総台地地区広域営農団地農道建設促進協議会総会
- 30日 議会運営委員会

6月

- 4日 東庄町防災演習
- 6日 議会6月定例会本会議
- 7日 文教福祉常任委員会
- 8日 シルバー人材センター通常総会
- 9日 議会6月定例会本会議
〃 議会全員協議会
〃 東庄町議会・教育委員会懇談会

- 11日 東庄町観光ふな釣り大会表彰式
〃 なのはなシニア千葉特選演芸会
- 15日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会東庄町支会第2回理事会
- 16日 第1回東庄町立小学校統合全体会議
- 17日 千葉県消防協会香取支部ポンプ操法訓練激励会
- 24日 千葉県消防協会香取支部ポンプ操法大会
- 26日 香取広域市町村圏事務組合議会6月臨時議会
- 28日 町シニアクラブ連合会グランドゴルフ大会

7月

- 2日～4日 東庄町区長会研修旅行（佐賀・長崎方面）
- 7日 市町村議会広報研究会
- 10日 議会全員協議会
- 11日 東庄町PTA連絡協議会教育関係者研修視察（東京方面）
- 12日 議会広報編集委員会
- 14日 東庄町水道運営審議会
〃 東庄町国民健康保険運営協議会
- 25日 東庄青果通常総会

◆編集後記◆

編集委員会が発足して、はや一年が過ぎました。表紙や内容が少しずつ変化していると思いますが、お気づきでしょうか。

委員一人ひとりが、気兼ねなく、和気あいあいと話し合い、住民目線に立ち、わかりやすく、読みやすくする為に努力を重ねて参りました。

なお一層「知恵を出せ！汗を出せ！」を合言葉に真実を歪めることなく、「伝える広報」から「伝わる広報」に日々努力して参ります。

まだ暑い日が続きますが、町民の皆様体調には十分注意し、毎日健やかに過ごしてください。

（委員 大網 正敏）

議会広報編集委員

- 委員長 花 香 彦
- 副委員長 宮 澤 健
- 委員 山 崎 ひろみ
- 委員 鈴木 正昭
- 委員 大屋 正敏
- 委員 土屋 正敏

